

「町田市産業振興計画19－28」 後期実行計画 2024年度取り組み結果

【評価の考え方】
◎：目標に対して110%以上の実績
○：目標に対して90%以上110%未満の実績
△：目標に対して90%未満の実績

資料 3

	施策	個別施策名	項番	指標	後期計画		達成状況 (2024年度末)	取り組み内容	評価
					現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
1	「立ち上げる」チャレンジ	(1)起業・創業の魅力を伝える	1	(1)セミナー等の実施回数	14回/年	12回/年	14回/年	創業機運醸成事業を実施(町田新産業創造センター) ・若年層向けイベント(まちだキッズアントレプレナープログラム等) 11回 ・関係支援機関との連携セミナー 3回	○
		(2)起業・創業への第一歩を支援【継続】	2	(1)創業スクールの参加者数	192名/年 (2019年度～2022年度の平均)	300名 (2024年度～2028年度の累計)	261名/年	・まちだ創業スクール2024(町田商工会議所) 8/24～11/26にかけて実施。無料プレセミナー(1回)、本格創業向けの会場受講型(4回)、オンライン受講と組み合わせの良い副業(6回)での創業をテーマに実施。受講者合計261名。	◎
			3	(2)女性向けセミナーの参加者数	26名/年 (2019年度～2022年度の平均)	150名 (2024年度～2028年度の累計)	27名/年	・まちだ女性創業スクール(町田新産業創造センター) 入門編(申込23名、参加16名) 1月～2月 実践編(申込11名、参加11名) 10月～11月	○
	(2)想いを形にするためのサポート	(1)起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援【継続】	4	(1)「起業家」カードの発行枚数	221枚/年 (2019年度～2022年度の平均)	1,250枚 (2024年度～2028年度の累計)	226枚/年	・町田新産業創造センター 137枚 ・町田商工会議所 89枚 ・セミナー受講者や相談者等へ「創業プロジェクト」を案内	○
			5	(2)町田商工会議所、町田新産業創造センターにおける創業相談件数	531件/年 (2019年度～2022年度の平均)	3,000件 (2024年度～2028年度の累計)	657件/年	・町田新産業創造センター 459件 ・町田商工会議所 198件 ・セミナー受講者や相談者等へ「創業プロジェクト」を案内	○
		(2)起業・創業支援の担い手の拡充【拡充】(★)	6	(1)民間の創業支援機関同士が連携した事業件数	5件/年	5件/年	5件/年	・LEVEL UP STAGE 2024(5月～11月 AGORA、町田新産業創造センター、多摩信用金庫主催) ・経営力アップセミナー(10月23日 町田新産業創造センター、きらぼし銀行、さがみはら産業創造センター主催) ・インキュベーション施設連携セミナー(12月2日 町田新産業創造センター、六郷BASE、多摩信用金庫) ・テストマーケティングin小田急百貨店町田店(2月1日 町田新産業創造センター、TOKYO創業ステーション) ・オープンイノベーションセミナー(2月13日 町田新産業創造センター、きらぼし銀行)	○
			7	(2)創業支援施設の立地件数	なし	1件 (2024年度～2028年度の累計)	0件/年	・中心市街地活性化奨励制度(中心市街地におけるシェアオフィス、コワーキングスペース等の整備に対する奨励制度)について、12月に金融機関(14社)に対しパンフレット送付により制度を周知	○
	(3)起業・創業後の事業拡大を後押し	(1)起業・創業初期の経営支援【継続】	8	(1)マッチングイベントの実施回数	2件/年	2件/年	15件/年	・町田新産業創造センターのセミナー参加者交流会を10回実施 ・町田新産業創造センター入居者交流会を3回実施 ・まちだ女性創業スクール交流会を1回実施	◎
			9	(2)アフターフォローの実施	実施	実施	実施	・継続的な相談対応のほか、SNS等を利用したアフターフォローを実施	○
		(2)起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援【継続】	10	(1)クラウドファンディングの支援件数	2件/年 (2019年度～2022年度の平均)	10件 (2024年度～2028年度の累計)	3件/年	・クラウドファンディング支援を外部事業者、セミナー参加者に案内 ・相談件数3件、実行件数0件	◎
			11	(2)市の融資制度において創業支援特例を受けた件数	35件/年	200件 (2024年度～2028年度の累計)	51件/年	・町田商工会議所や町田新産業創造センター、BUSO AGORA等の関係団体と連携し、セミナー等で周知	◎

「町田市産業振興計画19－28」 後期実行計画 2024年度取り組み結果

【評価の考え方】
◎：目標に対して110%以上の実績
○：目標に対して90%以上110%未満の実績
△：目標に対して90%未満の実績

資料3

	施策	個別施策名	項番	指標	後期計画		達成状況 (2024年度末)	取り組み内容	評価
					現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
2	(1)新分野・新技術への進出を後押し	①産業財産権に関する啓発・取得の支援【拡充】	12	(1)産業財産権取得に対する補助件数	28件/年	40件/年	33件/年	・本年度より制度拡充(申請回数を1回から2回へ変更、申請条件を事業開始「1年以上」を「3か月以上」に緩和) ・申請受付を4月から開始し、33件を補助	△
			13	(2)普及啓発事業(相談会・セミナー等)件数	6件/年	5件/年	5件/年	・産業財産権の啓発を図るため、相談会・セミナー等を5件実施 ・知財無料相談会(毎月第2木曜日、オンライン+対面相談受付) ・まちだキッズ発明体験教室(8月25日開催、19名参加) ・知財セミナー 1回(2月18日開催、7名参加) ・5者連携知的財産セミナー(10月31日開催、20名参加) ・高校生向け知的財産教育プログラム(町田総合高校、2月20日開催)	○
		②環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援【拡充】	14	(1)多様な販売手法(キャッシュレス、EC関連等)に関するセミナー開催件数	5件/年	5件/年	5件/年	・多様な販売手法の啓発を図るため、セミナーを5件実施 ・SNSを活用した販路拡大セミナーを2回開催(7月16日開催)(1月17日開催、46名参加) ・最新POSレジアプリに関するセミナー開催(10月17日開催、19名参加) ・POP 販促セミナーを開催(9月11日開催、47名参加) ・越境ECに関するセミナーを開催(8月19日、34名参加)	○
			15	(2)新たな販売手法導入支援(デジタルマンツーマン支援等)件数	54件/年	60件/年	202件/年	・専門相談等を活用してデジタル支援事業を引き続き実施	◎
			16	(3)カタログギフトへの参加企業数	なし	40社/年	38社/年	・2024年11月に掲載店舗を拡充し、カタログギフト事業を継続して実施	○
		③新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援【拡充】(★)	17	(1)新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供の実施件数	2件/年	2件/年	2件/年	・事業者のニーズに応じて、新しいビジネス手法や新技術導入推進に関するセミナーを市と町田商工会議所と共催で実施 ・越境ECの基礎知識と始め方セミナー(8月19日開催、34名参加)、9月開催 CANVAで作る店づくりのためのPOP 販促セミナー(9月11日開催、47名参加)	○
			18	(2)新商品開発・実証実験の支援件数	6件/年	50件 (2024年度～2028年度の累計)	5件/年	・新商品・新サービス開発補助の申請増加に向け、各所で事業PR ・2024年度申請受付を4月1日から5月17日まで募集を行い、申請が18件、5件を採択 ・採択に至らなかった事業者には、町田市公設試験研究機関利用事業補助金など関連補助制度や産業支援機関等での相談事業を案内	△
			19	(3)機器利用補助件数	なし	5件/年	3件/年	・新規事業として、公設試験研究機関利用事業補助金の募集を4月1日から3月14日まで行い、3件の申請・採択 ・近隣の公的機関研究機関である東京都立産業技術研究センターや神奈川県立産業技術総合研究所へ制度周知を依頼、産業関連イベントでの周知活動を実施	△
	(2)独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	①自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援【拡充】	20	(1)トライアル発注認定商品の認定件数	4件/年 (2019年度～2022年度の平均)	20件 (2024年度～2028年度の累計)	4件/年	・トライアル発注認定の申請増加に向け、各所で事業PR ・2024年度申請受付を4月から開始し、2024年度申請件数9件、認定件数4件、累計58件	○
			21	(2)ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数	2件/年 (2019年度～2022年度の平均)	20件 (2024年度～2028年度の累計)	1件/年	・ビジネスアドバイザー派遣件数増加に向け、トライアル認定事業者へのPRを実施	△
		②町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進【継続】	22	(1)まちだ名産品のれん会のイベント出店件数	5件	12件/年	15件/年	町田さくらまつり(4月)、ぼたん園有料開園(4～5月)、相模原市民若葉まつり(5月)、ネソホステーション町田名産品販売会(5月)、JRA町田特別(6月)、町田薬師池公園四季彩の杜「観蓮会」(7月)、町田シバヒロマルシェ(ナイトマルシェ)(7月)、町田シバヒロマルシェ(9月)、町田時代まつり(10月)、町田ダリア園(10月)、町田薬師池公園四季彩の杜「秋遊び」(10月)、いいもの〇ごと創業祭(11月)、キラリ☆町田祭(11月)、さくらフェスティバルin鶴間公園(3月)、町田さくらまつり(3月)	◎
			23	(2)町田私の好きなお店大賞投票数	1,999票/年	3,000票/年	8,389票/年	・20回記念事業として第11回～19回受賞店のグランプリを開催 投票期間:10月1日～年11月30日 投票者数:5,621名、投票件数:8,389票 1月7日の町田商工会議所賀詞交歓内で表彰式を開催 ○グランプリ:リッチなカレーの店 アサノ ○会頭賞:酒舗まさるや ○市長賞:やさいのナイトウ町田店 ○商業部会長賞:グランガトー ○食品・飲食部会長賞:蕎麦処くに作 ○サービス業部会長賞:ROWSE 投票者の中から100名に歴代大賞店で使える商品券を発送済み ・産業関連イベントでの周知活動を実施	◎
			24	(3)まちだシルクメロン等特産品を活用した商品数	3件/年 (2019年度～2022年度の平均)	15件 (2024年度～2028年度の累計)	10件/年	・商品開発の促進を図るため、引き続き事業周知を実施	○
		③営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進【拡充】	25	(1)各種見本市・展示会等出展支援件数	27件/年	30件/年	36件/年	・本年度から、申請条件を事業開始「1年以上」を「3か月以上」に緩和 ・利用件数増加に向け、引き続き、制度周知を行う ・出展に係るコンテンツ作成委託料の対象費用を拡大(ポスター、タペストリーも対象にした)	◎
			26	(2)ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数【再掲】	2件/年 (2019年度～2022年度の平均)	20件 (2024年度～2028年度の累計)	1件/年	・ビジネスアドバイザー派遣件数増加に向け、トライアル認定事業者へのPRを実施	△
	(3)異業種・異分野との連携による新たな価値の創出	①異業種・異分野との連携機会の創出【継続】	27	(1)交流会の開催回数	8件/年 (2019年度～2022年度の平均)	8件/年	6件/年	・交流会を6回開催 ・町田商工会議所 非会員説明会・交流会(9月18日開催)22名参加 ・MachiBiz2024(10月22日開催)89名参加 ・第12回 キラリ☆まちだ祭 2024(11月9日、10日開催) ・町田商工会議所 新入会員交流会(11月20日開催)44名参加 ・(町田・相模原・八王子共催)広域ビジネス交流会(12月4日開催)41社参加 ・町田商工会議所 会員交流会(3月27日開催)97名参加	△
		②連携による新たな価値の創出に関する支援【継続】	28	(1)異業種・異分野連携による新商品・新サービス開発の相談・補助件数	なし	3件 (2024年度～2028年度の累計)	1件/年	・ローカル10,000プロジェクトの活用による、武相ブリュワリープロジェクトの支援 ・新たな事業化や商品化につなげるため、異業種交流会等を実施	○

「町田市産業振興計画19－28」 後期実行計画 2024年度取り組み結果

【評価の考え方】
◎：目標に対して110%以上の実績
○：目標に対して90%以上110%未満の実績
△：目標に対して90%未満の実績

資料3

	施策	個別施策名	項番	指標	後期計画		達成状況 (2024年度末)	取り組み内容	評価
					現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
3	(1) 安定した事業継続をサポート	①コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援【継続】	29	(1)町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談件数	3,054件/年	3,200件/年	2,856件/年	・経営指導員、記帳相談員等により継続的に巡回・窓口相談を実施	△
			30	(2)町田商工会議所経営講座の受講者数	2,207人/年	2,500人/年	1,963人/年	・事業者に対し、ニーズに応じたSNS活用による販路拡大や財務、労務等に関するセミナーを実施	△
		②業務の効率化・生産性向上を促進【拡充】	31	(1)e-tax活用支援件数	114件/年	150件/年	74件/年	・e-tax活用支援を実施 ・定額減税と決算書のポイント解説セミナー 6/10 28名 ・個人事業主のための記帳セミナー 8/30 21名 ・個人事業主のための確定申告セミナー 1/16 25名	△
			32	(2)「先端設備等導入計画」認定件数	16件/年 (2019年度～2022年度の平均)	80件 (2024年度～2028年度の累計)	4件/年	・利用件数増加に向け、引き続き制度周知を実施 ・4件新規認定、4件計画変更として認定	△
		③事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援【継続】	33	(1)町田商工会議所専門相談の相談者数	273人/年	300人/年	64人/年	・町田商工会議所の専門相談員(弁護士、税理士、社会保険労務士、弁理士、行政書士、司法書士、中小企業診断士等)による相談を実施	△
			34	(2)危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ等の実施件数	3件/年	1件/年	1件/年	・町田商工会議所・町田市・警視庁の連携協定によるサイバーセキュリティセミナーを10月25日に開催。参加者20名 ・サイバーセキュリティについて、町田商工会議所ニュースの折込広告で啓蒙	○
	(2) 次代を担う人を育てる	①将来を担う人材の確保を支援【拡充】(★)	35	(1)健康経営に関する情報提供の実施	1回/年	1回/年	1回/年	・健康経営セミナーを(9/19)開催 Web受講者6名	○
			36	(2)就職面接会、採用相談会等の参加者数	187人	250人/年	370人/年	・ハローワークや商工会議所、しごとセンターと共催イベント等を実施 ・6月12日「おしごと応援フェアin町田」町田市文化交流センターで開催 86名参加 ・7月24日「若者と企業の交流会」町田センタービルで開催 10名参加 ・10月11日「就職面接会in町田」町田市文化交流センターで開催 76名参加 ・10月23日「東京町田合同就職面談会2024」町田市民ホール会議室で開催 53名参加 ・12月12日「まちだで働こう！ 合同就職面接会 ～Job Basket2024～」(ハローワーク町田)145名参加 ・2月25日「町田JOBカフェ」を実施(町田商工会議所青年部メンバー60名、一般参加37名、求職者65名) ・3月6日「まちだのおしごと見学ツアー」を実施	◎
		②人材育成やキャリア形成に関する支援【継続】	37	(1)キャリア形成・人材育成研修の開催回数	1回/年	1回/年	1回/年	・新入社員研修(4/18、7事業所19名)を実施	○
			38	(2)後継者育成に向けたセミナー等の開催	1回/年	1回/年	1回/年	・町田商工会議所、町田青年会議所、町田法人会青年部が連携し、若手経営者・後継者の学びの機会を提供(10月22日開催)89名参加	○
	(3) 円滑な事業承継を推進	①事業承継に対する早期の対策の促進【拡充】	39	(1)事業承継推進ネットワークによる事業の実施件数	なし	2件/年	9件/年	・ネットワーク構成機関と連携して事業承継セミナーを1回、市庁舎個別相談会を6回実施 ・ネットワークによる情報交換会を2回実施(7月23日、2月5日)	◎
			40	(2)事業承継アンケート調査の実施	実施	実施	— (2028年度実施予定)	・事業承継に関心がある方へ会議所ニュースや広報まちだへの掲載、チラシなどで効果的な情報発信を実施	-
		②事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援【継続】	41	(1)事業承継推進ネットワークによる事業の実施件数【再掲】	なし	2件/年	9件/年	・ネットワーク構成機関と連携して事業承継セミナーを1回、市庁舎個別相談会を6回実施 ・ネットワークによる情報交換会を2回実施(7月23日、2月5日)	◎
			42	(2)後継者育成に向けたセミナー等の開催【再掲】	1回/年	1回/年	1回/年	・町田商工会議所、町田青年会議所、町田法人会青年部が連携し、若手経営者・後継者の学びの機会を提供(10月22日開催)89名参加	○
		③事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援【継続】	43	(1)事業承継に関する市の融資制度及び補助制度の活用件数	1件/年	10件 (2024年度～2028年度の累計)	3件/年	・事業承継セミナーや相談会を事業者への制度を周知 ・事業承継推進ネットワーク構成機関と連携し、制度を周知	◎
			44	(2)ネットワークの支援による市内事業者の事業承継完了件数	10件/年 (2019年度～2022年度の平均)	63件 (2024年度～2028年度の累計)	25件/年	・事業承継推進ネットワークを活用し、各機関との連携を強化しながら、円滑な事業承継をサポート ・事業承継推進ネットワーク連携機関での相談受付件数は364件	◎

「町田市産業振興計画19－28」 後期実行計画 2024年度取り組み結果

【評価の考え方】
◎：目標に対して110%以上の実績
○：目標に対して90%以上110%未満の実績
△：目標に対して90%未満の実績

資料3

	施策	個別施策名	項番	指標	後期計画		達成状況 (2024年度末)	取り組み内容	評価
					現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
4 ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり	(1)働きやすいまちづくりの推進	①多様な働き方を実現するための環境づくり【拡充】(★)	45	(1)労働関連セミナー等の参加者数(市内開催)	339人/年	450人	318人/年	・働き方に関するセミナーを4回以上実施 ・市主催で育休後の再就職を考えている方や子育てと仕事を両立して働きたいと考えている方に向け、今後のキャリアを考えるセミナーを新規に実施	△
			46	(2)市内コワーキングスペース等の情報発信	なし	実施	実施	・市内コワーキングスペースの情報を市ホームページに掲載	○
		②心地よく働き続けることができる環境づくり【継続】	47	(1)町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数	739事業所	739事業所	686事業所	・新規会員獲得に向けた取り組みを実施 ・町田市勤労者福祉サービスセンターの中期経営計画に沿った事業を実施	△
	(2)「選ばれるまち」としての魅力を高める	①事業者サポート体制の充実【継続】	48	(1)町田商工会議所専門相談の相談者数【再掲】	273人/年	300人/年	64人/年	・町田商工会議所の専門相談員(弁護士、税理士、社会保険労務士、弁理士、行政書士、司法書士、中小企業診断士等)による相談を実施	△
		②多様な資金調達の支援【拡充】	49	(1)市の融資制度において創業支援特例を受けた件数【再掲】	35件/年	200件 (2024年度～2028年度の累計)	51件/年	・町田商工会議所や町田新産業創造センター、BUSO AGORA等の関係団体と連携し、セミナー等で周知	◎
			50	(2)クラウドファンディングの支援件数【再掲】	2件/年 (2019年度～2022年度の平均)	10件 (2024年度～2028年度の累計)	3件/年	・クラウドファンディング支援をセミナー参加者に案内 ・相談件数3件、実行件数0件	◎
		③市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援【継続】	51	(1)企業立地件数	1事業者/年 (2019年度～2022年度の平均)	10事業者 (2024年度～2028年度の累計)	0件	・企業立地奨励金Ⅰ型について、2024年度1件の増設での指定申請あり(2025年度中に奨励金指定、交付申請予定) ・1事業者から、2026年度の企業立地奨励金Ⅰ型について、新設での指定申請に向けた相談あり	△
		④町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進【拡充】(★)	52	(1)市内コワーキングスペース等の情報発信【再掲】	なし	実施	実施	・市内コワーキングスペースの情報を市ホームページに掲載	○
		⑤町田で働く魅力の発信【拡充】	53	(1)子どもや学生を対象とした職業体験等の実施回数	14回/年	12回/年	13回/年	年代別の創業機運醸成事業を実施 ・まちだキッズアントレプレナープログラム(プログラミング教室:2回、マネー教室:2回、発明教室:1回、クリエイター教室:1回) ・高校生向けセミナー 1回 ・角川ドワンゴ学園との連携イベント 4回 ・まちだのお仕事見学ツアー 1回 ・町田JOBカフェ 1回	◎
			54	(2)拡充した表彰制度の実施	なし	実施	検討	・中小企業の魅力発信に向け、中小企業の表彰制度を検討	△
		⑥産業支援に関する有効な情報発信【拡充】(★)	55	(1)SNS等を活用した情報発信	実施	実施	実施	・Instagram市産業政策課の公式アカウントを開設 ・SNS(Instagram、X、Facebook)や町田市公式ホームページ等を活用し、事業者のチャレンジに関する情報や、支援情報等を発信 ・地域経済現況調査を実施	○
	(3)まちの賑わいを生み出す	①コト・キ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援【継続】	56	(1)商店会のイベント・活性化等事業数	40件/年	46件/年	46件/年	・町田市商店街チャレンジ戦略支援事業補助金、地域連携型商店街事業補助金を通じ、商店会の育成支援を実施 ・東京都商店街グランプリにて市内2商店会が優秀賞を受賞(11月12日表彰式) ・2024年度は46件の支援を実施(3月末まで)	◎
			57	(2)商店街スタンプラリーへの参加者数	5,814人	7,000人	6,678件/年	・11月1日から12月31日まで、商店街スタンプラリーを実施し、485店舗が参加 ・応募数増加に向け、商店会連合会アプリでの応募を促したほか、商店会イベントや産業関連イベントでの周知活動を実施	○
		②町田の産業の魅力発信【継続】	58	(1)イベント(「キラリ☆まちだ祭」等)の来場者数	80,126人/年	150,000人/年	101,934人/年	・第12回 キラリ☆まちだ祭 2024の開催(11/9・10) ・原町田大通り滞留空間工事による影響を考慮して、催事全体の構成などを検討した ・工事の都合により出店ブースの数は限られたが、市内産業のPRおよび、来場者数増加に向け、各会場において家族連れをメインターゲットとして、子ども向けの体験ブース等を企画した	△